

第2回定例会 8人の議員が一般質問

定例会で審議された議案

専決処分の承認

○平成28年度一般会計補正予算(第2号)
参議院議員選挙の立会人・事務従事者の報酬や、投票箱・記載台の購入費用、155万5千円を増額補正。

取の市民農園に滞在型施設(ラウベ)7棟とその付帯施設を整備。

補正予算

○平成28年度一般会計補正予算(第3号)
総額903万4千円を増額補正。

ふるさと納税寄付金の増収5千万円、新婚世帯のスタートアップ支援補助金180万円、農業者への支援として産地パワーアップ事業費補助金3112万9千円など。

条例の改正

○東伊豆町特別職の職員で非常勤の者の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正
空家等対策協議会を新たに設置し、協議会の委員に支払う報酬月額5千5百円を条例で規定。

工事の契約

○滞在型市民農園整備工事請負契約の締結
9061万2千円で株式会社竹内組と契約。稲

同意案(人事)

○固定資産評価審査委員会委員の選任
審査委員に、太田正一氏(奈良本)を選任した。
○教育委員会委員の任命
現職の竹内明美委員

選挙

○静岡県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙
推薦
○人権擁護委員候補者の推薦
現在の委員が任期満了になるため、新たに外岡恵美子氏(稲取)を推薦した。

諮問(人事)

(稲取)が7月3日に任期満了のため、引き続き竹内氏を教育委員会委員に任命した。

陳情・要望書

○所得税法第56条の廃止を求める意見書提出を求める陳情
担当常任委員会の総務経済常任委員会に付託して内容を審議した結果は「不採択」。その結果を受け、本会議の審議においても不採択となった。

表紙の写真

フライトハウスの校長 鈴木信幸さんは、平成26年8月に着陸寸前に突風に見回れ、地上に激しく打ち付けられました。脊椎の損傷、肋骨骨折など寝たきりになるのかと心配されましたが、病院でのリハビリと自宅に戻ってからも工夫を重ねたりハビリに取り組みました。手足にマヒが残り立つこともできないことから、道具にも緩衝材や取手の取り付け、着陸時に滑走可能となる走行プレートの装着など改良を重ね障害が残っていないなかで、単独フライトを6月12日に成功させました。

町長に聞きました (定例会一般質問)

— 飯田桂司 議員 —
▽町長の政治姿勢

— 鈴木 勉 議員 —
▽アスト会館
▽高齢者福祉
▽通学路の交通安全対策

— 笠井政明 議員 —
▽夏季アスト会館プール使用
▽東伊豆町内学校統合
▽データの利活用

— 西塚孝男 議員 —
▽町の経済
▽小中学校の制服

— 藤井廣明 議員 —
▽アスト会館の売却

— 内山慎一 議員 —
▽築城石の石丁場の整備

— 稲葉義仁 議員 —
▽観光客の安全対策
▽私設街路灯補助

— 山田直志 議員 —
▽火災におけるサイレン
▽地域コミュニティーの強化充実
▽子供の貧困等



町内道路の整備計画は

答 伊東市池地区へつながる道路を要望



飯田桂司議員

▽町長の政治姿勢

問 平成28年度の町内道路の整備計画は。
町長 県関係では、農道

整備、歩道の改良工事、町道湯ヶ岡赤川線のパイパス工事を実施。町関係では、町道稲取片瀬線で舗装の改良工事、国道135号に架かる町道小橋熱川線の熱川橋の落橋防止対策工事、町道湯ノ沢草崎線大川地区草崎地内の老朽化した法面の補強対策工事を実施していく。

問 国道、町道等へつながる伊豆縦貫道へアクセスするための道路整備は。
町長 東伊豆町では伊豆縦貫道へ直接アクセスできる管内道路は無い。伊東市や伊豆市と伊豆横断道路建設促進期成同盟会を結成しており、そのなかで大川地区から伊東市池地区へ直接アクセスする道路を要望し、東伊豆町からスムーズに伊豆市の天城湯ヶ島インターチェンジにつながる道路を国・県に要望している。



建設中の伊豆縦貫道(天城北道路)天城湯ヶ島インターチェンジ付近